

## 2022年6月期事業計画書

対象期間：2021年7月1日から2022年6月30日まで

当財団が重点課題として位置づけている「科学教育の普及・啓発助成」事業の一層の充実を図ることにこれまでどおり注力するものとし、こどもたちが集う公的施設や被災地などへの推薦図書寄贈活動では、新たに選定した推薦図書の「Phase3」をより多くの子どもたちへ届け理科好きの青少年の育成を図っていく。また、内閣府へ現在「変更認定申請」手続きを行っている科学教育の普及・啓発活動促進のための団体表彰ならびにこれまで推薦図書を寄贈した公的施設などを対象としたこどもたちの読書感想文コンクールを申請が認可され次第、具体的な活動を開始する。

### 1. 助成&表彰事業

#### (1) 「研究費の助成」事業

- (i) 助成対象：化学の領域における基礎研究または応用研究であって、先駆的独創的にして、わが国の科学技術の振興に貢献することが充分期待され得るもの
- (ii) 助成金額：1件100万円（設備備品費、消耗品費、国内旅費）までを限度とする
- (iii) 推薦：候補者は、本財団役員及び評議員、またはこの法人で適当と認めた化学系学会等の推薦による

#### (2) 「国際交流助成」事業

- (i) 助成対象：化学の領域において、次の国際研究交流に貢献することが期待されるもの
  - ① 海外における国際研究集会への出席、または主催者側から必要と認められ招聘される者（ただし、国公費による出張者を除く）
  - ② 国内で行われる国際研究集会
  - ③ 国外で行われる国際研究集会
- (ii) 助成金額：
  - ① の場合：1件30万円（渡航運賃）までを限度とする
  - ② の場合：1件50万円（会場費、印刷費、国内滞在費）までを限度とする
  - ③ の場合：1件50万円（滞在費、印刷費、招聘費）までを限度とする
- (iii) 推薦：「研究費の助成」の場合と同じ

#### (3) 「研究交流促進助成」事業

- (i) 助成対象：産業・経済の発展に貢献することが期待される科学技術に関し、産学官等の研究交流促進が図れるもの
- (ii) 助成金額：1件／100万円（会議開催費、講師招聘費用等）までを限度とする
- (iii) 募集：原則公募による

(4) 「科学教育の普及・啓発助成」事業

I. 科学教育の普及・啓発活動支援のための活動費支援

(i) 助成対象： 科学技術や理科に興味を持った青少年を育成することを目的として、科学教育の普及・啓発が期待されるもの

(ii) 助成金額： 1件／原則30万円（会議費、印刷費、教材費、備品費、旅費、講師料等）

(iii) 募集： 原則公募による

II. 科学技術の普及・啓発活動団体の表彰（新規）

(i) 表彰対象： 「科学教育の普及・啓発助成」選考委員会にて採択された団体の中から特に素晴らしい活動を行っている団体

(ii) 表彰内容： 奨励賞他複数件：賞状ならびに副賞（総計150万円）

III. 科学教育の普及・啓発活動支援のための活動成果をまとめた書籍刊行費支援

IV. 科学教育の普及・啓発活動支援のための公的施設への推薦図書セット寄贈

V. こどもたちの読書感想文コンクール（新規）

(i) 助成対象： 科学教育の普及・啓発の促進を目的とし、推薦図書を読んでもらったこどもたちを対象とし実施

(ii) 表彰内容： 奨励賞他複数件：賞状ならびに副賞（総計50万円）

(iii) 募集： 推薦図書寄贈先へ募集案内送付 他

(5) 表彰事業

I. 向井賞の表彰事業

(i) 表彰対象： 科学技術の振興に関する特に優れた研究業績

(ii) 表彰内容： 1件／賞状ならびに賞牌、副賞（100万円）

(iii) 推薦： 本財団役員及び評議員、または、この法人で適当と認めたものによる

II. 向井記念科学講演会の開催

科学技術の振興に貢献することを目的とし、向井賞受賞者の講演を中心に前年研究助成対象者の成果発表の講演会を開催

3. 事業運営のため、次の各種集会を行う。（コロナ禍のためwebとreal会議併用）

(1) 理事会の開催

(2) 評議員会の開催

(3) 選考委員会並びにこどもたちの読書感想文コンクール選定委員会の開催

(4) 企画・運営会議等を随時開催

(5) 表彰（向井賞、科学教育の普及・啓発活動団体表彰）・贈呈式の開催

(6) 記念科学講演会などの開催

以上